

第1回 瑞穂町の図書館をみんなで考え・つくるワークショップ 報告

日 時：令和元年9月7日（土） 13：30から16：00（13：00開場）

場 所：瑞穂町ふれあいセンター 大会議室2・3

テーマ：瑞穂町の図書館の可能性を考える－1

「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」を考えよう

参加者：33人（うち、当日参加7人）

内 容：第1部 オリエンテーション：13：30から14：00

- 1（全 体）図書館長あいさつ・瑞穂町図書館のこれからの動き
- 2（全 体）図書館協議会メンバー紹介（会長あいさつ）
- 3（全 体）ファシリテーター紹介
- 4（全 体）ワークショップ・オリエンテーション

第2部 発見しよう、共有しよう：14：00から14：25

- 1（チーム）チーム内自己紹介（A～Eの5チーム）
- 2（チーム）瑞穂町図書館を歩いて観察しよう
A・EグループとB・C・Dグループの2班に分かれ図書館内を案内

【休憩 10分】

第3部 創造しよう、整理しよう：14：35から15：30

- 1（チーム）「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」を考え、書き出してみよう。
- 2（チーム）今日、発見創造したことを共有し、みんなでシートにまとめよう

第4部 発表

- 1（全体）発表
- 2（全体）感想
- 3（全体）写真撮影

第1部では、瑞穂町図書館のこれからの動きについて話した後、ワークショップについてのオリエンテーションを行いました。

ワークショップは、①協働性（一緒に作業をする）②共有性（想いを伝え合う）③創造性（新しいものをうみだす）④身体性（体を動かす）⑤プロセス重視（創っていく過程を大切にする）の特徴を持っています。他人事として要望ばかりを発するのではなく、自分たちの図書館として、どのような図書館にしていきたいか主体的に関わって意見を出していくことが大切だと伝えました。

第2部の図書館案内は、2グループに分かれ、

①1階⇒2階⇒3階⇒視聴覚室

②視聴覚室⇒1階⇒2階⇒3階の順で図書館を見学をしました。

閉架書庫など、普段は利用者が入れない場所も見学してもらいました。

第3部では、まず「場としての図書館」として、

①新しい図書館はどんな場があったらいいでしょう？

②それを実現するにはどんな課題があるでしょう？

③みなさんはどんな協力ができますか？

について参加者それぞれが付箋に考えを書き、チーム内で意見交換し、分野ごとに分けて模造紙に貼りました。

次に、「図書館でできること、やりたいこと」として、

①新しい図書館でどんなことができたらいいいでしょう？

②それができるようにするためには、どんな課題があるでしょう？

③みなさんはどんな協力ができますか？

について参加者それぞれが付箋に考えを書き、チーム内で意見交換し、分野ごとに分けて模造紙に貼りました。

第4部では、チームごとに「場としての図書館」「図書館でできること、やりたいこと」について、ホワイトボードに模造紙を貼り、代表者が前に出てチーム内で出た意見について発表しました。

